

アクティブ福祉

9月27日 京王プラザホテル新宿で開催された「アクティブ福祉in東京'17研究大会」に参加しました。都内のたくさんの福祉施設の研究発表を見てとても良い刺激になりました。

偕楽荘は、今年の5月より始動した、「夢畑」について、研究発表をさせていただきました。毎月第2、第4木曜日の午前中、八王子市にある、NPO法人多摩草むらの会の「夢畑」に、職員2名、ご利用者4～5名でボランティアに行っています。障害のある若者たちと一緒に、農作物の収穫や、時には炎天下の中で畑を耕したりしています。

ご利用者にこれからも元気で自立した生活を続けていただくためにも、自ら楽しく「いきがい」や「やりがい」を感じていただけるような活動を今後も提供していけたらと思っています。

全国会議（二年連続最優秀賞受賞!!）

10月17、18日に平成29年度全国老人福祉施設研究会議（高知会議）が開催されました。偕楽荘では、「地域社会に開かれた施設になるための研究 『わくわくキッチン』がつなぐ地域との架け橋」と題して発表し、昨年の発表に続いて、最優秀賞を受賞しました。

偕楽荘では、施設の経験を地域に還元するために、料理教室『わくわくキッチン』を実施しています。食事・栄養面の介護予防だけでなく、ご利用者と地域高齢者の交流の場にもなっています。

今後も、ご利用者と地域高齢者が住み慣れた地域で、健康な食生活が送れるよう、栄養士として、疾病予防、健康増進の取り組みを行っていきたいと考えています。



自衛消防操法

10月17日 多摩ニュータウン市場で自衛消防操法大会が行われました。楽友会は毎年出場しており、今年、偕楽荘からは鶴岡施設長と鈴木ケアワーカーが参加しました。

2号消火栓の部の出場組数は11組。楽友会自衛消防隊の結果は5位でした。残念ながら1位にはなれませんでした。日々の練習の成果を出し切り、隊員たちの表情からは達成感や爽快感が見られました。

自衛消防操法を行なう中で習得した知識と技術を法人や地域の防災にも役立てていきます。

